

文：高瀬徹朗 *Takase Tetsuro*

本誌放送アナリスト・ワンセグウォッチャー

## 4月開始のNHKデータ放送

# 「BSドラママイル」

## 通信を活用したPULL型サービスの新たな形

都内に吹き荒れた強風の影響で124/128度CS放送用アンテナが受信不能となったことをきっかけに、このほどe2に乗り換えた。そこで初めて知ったのだが、e2には「ベーシックバック」に相当するものがないらしい。加えてチューナーが専用機ではなく、さらに昨年開始されたBSへの一部乗り入れと相まってチャンネル選択がとて面倒。どうにもならないのか、どうにもする気がないのかは知らないが、1,500万世帯普及を目指すなら、こうした足元から見直す機会を持つたらいかがだろうか。それではチェック、スタート。

### まずはポイントを貯める

4月からスタートしたNHK「BSドラママイル」は、対象番組(ドラマ)の視聴時間に応じてポイントを与え、特典と交換できるサービス。交換商品は番組オリジナル壁紙やスペシャル動画などのデジタルコンテンツに加え、番組オリジナルグッズなどの物理グッズ応募にも参加することができる(物理的グッズ取得のためには別途、NHKネットクラブと連携させるための登録が必要)。

あらかじめ当方の視聴環境を説明しておく、残念ながらテレビにLAN回線を常時接続はしていない。平時はPCに接続している回線をデータ放送利用時に回しているだけ。普段ならばさほど不便はないが、今回はこの環境が命取りになったため、あえて付記しておく。

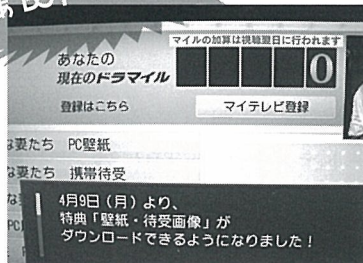
チャンネルをBSプレミアムに合わせ、リモコンボタンをプッシュ。すると、画面右下に「BSドラママイル対象番組」の表示。青ボタン「マイルについて」を選択すると、サービスの概要が説明されるページに遷移する。

さて、まずはポイントを貯めなければ話が進まないということで、対象番組の集中している日曜日にチェックを開始。最初のターゲットは16時30分スタートの朝の連続テレビ小説『梅ちゃん先生』集中放送だ。良作との評判なので内容にも期待しつつ、時間とともにBSプレミアムにチャンネルを合わせた。

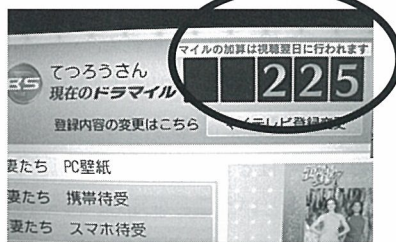
### 自覚できないポイント加算に戸惑いも

ここで驚きの事実が複数発覚。第一に

さあBSドラママイルに挑戦



頑張った成果だ!



は、説明ページトップで目に飛び込んできた「マイルの加算は視聴の翌日におこなわれます」という情報だ。翌日までLAN回線接続を維持しなければならないのか、それとも視聴後に外して翌朝つなぎ直しても加算されるのか。冷静に通信の特性を考えれば後者に違いないが、不安を覚えつつ視聴を続行する。

第二に、というか前段と連動した内容だが、視聴中にポイントが貯まっているのかどうかを確認するすべがない。端末によっては「データ取得中」の文字が表示されるらしいが、当方の端末は対象外。現状のポイントがどの程度なのか確認できないのは

おろか、そもそもポイント加算が進行しているのかもわからない。

そして第三の驚愕、それは「別のデータ放送ページを立ち上げているとポイントが加算されない」というルール。いや、帯域の使い方を考えれば、それ自体に違和感はないが、「先刻の説明ページを開いている最中はどうなっているのか」ということが新たな気がかりに。これもまた、現状が確認できないことからくる不安だろう。

とにかく当日は、BSプレミアムにチャンネルを合わせ続けてドラママイルが貯まっていることを信じるほかにない。情報を求めてNHKトップから「BSドラママイル」を選択したところ、「4月9日より特典がダウンロードできるようになりました」とあるので、おそらくは貯まっているはず、と信じて翌日を待つことにした。

そして翌朝、『梅ちゃん先生』以外にも複数ドラマを視聴し続けた結果は225マイル、約3時間45分相当だ。紹介されていた物理グッズも200ポイント程度だったので、頑張れば(?)1日で獲得できるということになる。

「番組視聴中、余計な動作なしでポイントが貯まる」ことが最大の特長で、これがメリットにもデメリットにもなりうる、というのが正直な感想。「躍起になってポイントを貯める」目的を持った場合は気になる点が多いが、あくまで番組視聴をメインとしたおまけクーポンサービスと考えれば問題ないはず。接触率向上に向けたデータ放送の活用、と捉えるのが正しいのかもしれない。